

インターナショナルクロス

IFFS インドネシア

<2>

プラットフォームにつ
いてジェリー・タン氏に
忌憚ない意見を聞いた。

—各ブースを見る
と、スタイルや素材に非
常に類似性が多い。

「コンセプトの共通性
やトレンド面にわたる
が、企業と学生のコラボ
として、企業側がこうし
た製品をこれらの素材で
と、市場ニーズに触れる
意見が出たり、製品化す
る過程の修正もあるだろ
う。だが、全部がそうし
たことをしては目的の革
新性、オリジナリティが
なくなる。そうした点で
共通性が出てきているの

ではないか」
—日本市場へ向けて
訴求したいものは。

「先ず家具はサイズだ
と。二つ目は細かいとこ

と考えている。ポイント
は二つあって、一つはシ
ンプル、モダンであるこ
ろまで行き届いた繊細な
感性だと思う。これは日
本市場へということでは
ないが、素材も良いもの
を使い、デザイナー達を
グループ化してデザイン
オフィスの設置も目指
す。ゆくゆくは、著名な

インドネシアが 総力でパビリオン

110社が従来製品を刷新出展



④アスミンドのタナンガ氏⑤ホンさん(女性)と
ヤンさん/基石をイメージした円形チェアの前で

した様なデザインで、ヤ
ン・チン・ロンさん(男
性)とホン・プイ・イン
さん(女性)の若い二人
のデザイナーがデザイン
したもの。共にファニチ
ャー&プロダクトデザイ
ン事務所に勤める。
コンセプトを聞くと
「洋と東洋をイメージし
た」と答えた。いわゆる
学生とその延長線上にあ
る、若いこれからのデザ
イナーのチャレンジの場
が出来た、それをジェー
リー・タン氏が政府の支
援で注力。今後、シンガ
ポールの家具デザイン
の向上と、世界市場へ向
けてメーカーとのコラボ
効果を高めていく、そうい
うテーマゾーンを設けた
というところだろう。

デザイナーを輩出
してブランド化し
ていくのが望まし
い」
プラットフォー
ムブースで、交
わったデザインの
樹脂材の円形チェ
アをみた。白、黒
の基石をイメージ
した様なデザインで、ヤ
ン・チン・ロンさん(男
性)とホン・プイ・イン
さん(女性)の若い二人
のデザイナーがデザイン
したもの。共にファニチ
ャー&プロダクトデザイ
ン事務所に勤める。
コンセプトを聞くと
「洋と東洋をイメージし
た」と答えた。いわゆる
学生とその延長線上にあ
る、若いこれからのデザ
イナーのチャレンジの場
が出来た、それをジェー
リー・タン氏が政府の支
援で注力。今後、シンガ
ポールの家具デザイン
の向上と、世界市場へ向
けてメーカーとのコラボ
効果を高めていく、そうい
うテーマゾーンを設けた
というところだろう。

(続く 長島)